

会議名	第14回多摩市地域公共交通会議																																																																																														
開催日時	令和4年10月28日(金)午後3時～																																																																																														
開催場所	多摩市役所西第1会議室から第3会議室																																																																																														
会議次第	<p>議事 (1) 多摩市交通マスタープランに基づく評価指標等について</p> <p>報告 (1) 「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」に関する取組状況について</p> <p>(2) 多摩市公共交通事業者燃料費高騰等に対する支援金について</p> <p>(3) 多摩市ミニバス東西線のルート変更の検討について</p>																																																																																														
出欠席(敬称略)	<p>(1) 出席委員・22名(氏名()内は代理出席者の氏名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>職名</th> <th>氏名</th> <th>協議会構成委員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>会長</td> <td>陰山 峰子</td> <td>多摩市 副市長</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>副会長</td> <td>吉川 徹</td> <td>東京都立大学 大学院都市環境科学研究科建築学域教授</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>委員</td> <td>八山 晋一郎</td> <td>小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>委員</td> <td>篠田 貴宏 (秋川 幸雄)</td> <td>京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>委員</td> <td>鈴木 孝典</td> <td>多摩都市モノレール株式会社 総務部課長</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>委員</td> <td>佐藤 勝太</td> <td>神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>委員</td> <td>早田 俊介</td> <td>京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>委員</td> <td>鈴木 健一</td> <td>飛鳥交通株式会社 多摩地区統括部長</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>委員</td> <td>山崎 龍男</td> <td>小田急交通南多摩株式会社 本社営業所長</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>委員</td> <td>米澤 暁裕</td> <td>一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>委員</td> <td>小林 康雄</td> <td>多摩市視覚障害者福祉協会 理事</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>委員</td> <td>勝手 春幸</td> <td>多摩市身体障害者福祉協会 理事長</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>委員</td> <td>大石 欣也</td> <td>多摩市聴覚障害者協会 会長</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>委員</td> <td>中村 一雄</td> <td>多摩市自治連合会 自治対策委員</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>委員</td> <td>佐々木 茂</td> <td>多摩市老人クラブ連合会 副会長</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>委員</td> <td>鈴木 淳 (中川 拳太)</td> <td>国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>委員</td> <td>清家 裕之</td> <td>国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>委員</td> <td>横溝 輝昭</td> <td>京王バス労働組合 多摩分会 分会長</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>委員</td> <td>大場 伸</td> <td>飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員長</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>委員</td> <td>二瓶 秀雄</td> <td>小田急交通南多摩労働組合 書記長</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>委員</td> <td>吉越 守</td> <td>警視庁多摩中央警察署 交通課長</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>委員</td> <td>佐藤 稔</td> <td>多摩市 都市整備部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 欠席委員・・・4名</p> <p>(3) 傍聴者・・・0名</p> <p>(4) 事務局・・・5名(多摩市都市整備部交通対策担当課長・道路交通課交通係) (多摩市健康福祉部障害福祉課長・相談支援担当主査)</p>			No.	職名	氏名	協議会構成委員	1	会長	陰山 峰子	多摩市 副市長	2	副会長	吉川 徹	東京都立大学 大学院都市環境科学研究科建築学域教授	3	委員	八山 晋一郎	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長	4	委員	篠田 貴宏 (秋川 幸雄)	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長	5	委員	鈴木 孝典	多摩都市モノレール株式会社 総務部課長	6	委員	佐藤 勝太	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長	7	委員	早田 俊介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長	8	委員	鈴木 健一	飛鳥交通株式会社 多摩地区統括部長	9	委員	山崎 龍男	小田急交通南多摩株式会社 本社営業所長	10	委員	米澤 暁裕	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長	11	委員	小林 康雄	多摩市視覚障害者福祉協会 理事	12	委員	勝手 春幸	多摩市身体障害者福祉協会 理事長	13	委員	大石 欣也	多摩市聴覚障害者協会 会長	14	委員	中村 一雄	多摩市自治連合会 自治対策委員	15	委員	佐々木 茂	多摩市老人クラブ連合会 副会長	16	委員	鈴木 淳 (中川 拳太)	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)	17	委員	清家 裕之	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)	18	委員	横溝 輝昭	京王バス労働組合 多摩分会 分会長	19	委員	大場 伸	飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員長	20	委員	二瓶 秀雄	小田急交通南多摩労働組合 書記長	21	委員	吉越 守	警視庁多摩中央警察署 交通課長	22	委員	佐藤 稔	多摩市 都市整備部長
No.	職名	氏名	協議会構成委員																																																																																												
1	会長	陰山 峰子	多摩市 副市長																																																																																												
2	副会長	吉川 徹	東京都立大学 大学院都市環境科学研究科建築学域教授																																																																																												
3	委員	八山 晋一郎	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長																																																																																												
4	委員	篠田 貴宏 (秋川 幸雄)	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長																																																																																												
5	委員	鈴木 孝典	多摩都市モノレール株式会社 総務部課長																																																																																												
6	委員	佐藤 勝太	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長																																																																																												
7	委員	早田 俊介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長																																																																																												
8	委員	鈴木 健一	飛鳥交通株式会社 多摩地区統括部長																																																																																												
9	委員	山崎 龍男	小田急交通南多摩株式会社 本社営業所長																																																																																												
10	委員	米澤 暁裕	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長																																																																																												
11	委員	小林 康雄	多摩市視覚障害者福祉協会 理事																																																																																												
12	委員	勝手 春幸	多摩市身体障害者福祉協会 理事長																																																																																												
13	委員	大石 欣也	多摩市聴覚障害者協会 会長																																																																																												
14	委員	中村 一雄	多摩市自治連合会 自治対策委員																																																																																												
15	委員	佐々木 茂	多摩市老人クラブ連合会 副会長																																																																																												
16	委員	鈴木 淳 (中川 拳太)	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)																																																																																												
17	委員	清家 裕之	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)																																																																																												
18	委員	横溝 輝昭	京王バス労働組合 多摩分会 分会長																																																																																												
19	委員	大場 伸	飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員長																																																																																												
20	委員	二瓶 秀雄	小田急交通南多摩労働組合 書記長																																																																																												
21	委員	吉越 守	警視庁多摩中央警察署 交通課長																																																																																												
22	委員	佐藤 稔	多摩市 都市整備部長																																																																																												

1 開会

事務局が配布資料の確認を行った。

2 委嘱状交付

事務局が委嘱状の交付に係る連絡及び代理出席者・欠席者の連絡を行った。

事務局が吉川委員を副会長に指名する報告を行った。

3 会長挨拶

会長が開会の挨拶を行った。

4 出席者自己紹介

出席委員22名より、それぞれ挨拶があった。

5 議事

(1) 多摩市交通マスタープランに基づく評価指標等について

○事務局

- ・資料No.3における各取組項目の概況、議決事項ではなく協議事項である旨等を説明した。

各委員より、それぞれの取組項目等に係る報告があった。

評価指標1-1

○八山委員

- ・乗降人員の推移について、2020年度はコロナの影響を受けて、対前年度比で30%以上減少している。2021年度は2020年度と比較すると、駅によって差はあるが、平均で10%程度回復している。
- ・外出機会の創出、公共交通機関の利用促進を図るため、「子育て応援ポリシー」を策定している。

○秋川委員

- ・乗降人員の推移について、2020年度は、対前年度比で20～30%以上減少している。2021年度は2020年度と比較すると、10%程度回復している。直近の状況を見ると、回復傾向は多少伺えるものの、コロナ禍前の状況に戻るには程遠い状況である。
- ・テレワークの普及等により、通勤で利用される方の落ち込みが激しくなっていることから、通常の乗車券で利用する方の利用を促進するため、「シニア全線パス」、「こどもとっしよ割」といった取組を展開している。

○鈴木委員

- ・乗降人員の推移について、2020年度は、対前年度比で4割程度減少している。2021年度はそこから2割程度戻っている。直近では、引き続き回復傾向は見られるが、テレワークの普及等からか、特に通勤客の方のご利用がコロナ禍前の状況に全く戻っていない状況である。
- ・定期外の利用者の利用を促進するため、「TAMAMONOぐるっとプレミアムガイド」、「たまモノこどもワンデーパス」といった取組を実施している。

評価指標 2-1

○佐藤委員

- ・乗降人員については、コロナ禍の影響もあって、令和2年度、令和3年度と大きく減少している。回復状況も令和元年度と比較すると、20%程度戻っていない状況である。緩やかな回復傾向にはあるが、第7波と呼ばれるような波の時期は、顕著に利用機会の影響がある。
- ・お出かけ促進を目的に、乗車券1枚で2人の方が乗車できるフリー乗車券を土日祝日限定で実施している。また、地域活性化を目的に小田急さんと連携した「宮ヶ瀬湖周辺AIオンデマンドバスの実証実験」、「自動運転の実証実験」、さらに既存路線を守るために、各地区で地域のお店と連携した取組を実施している。

○早田委員

- ・乗降人員について、令和3年度は、コロナ禍前の令和元年度と比較して、会社全体としてはマイナス20%前後で推移している。一方、多摩市内の路線の特徴として、大学等の学校輸送のシェアが大きいと、社会人の利用者と比較したときに、通学の関係から学生の利用者の戻りが比較的早いこともあって、平均からすると数字が良いのかなと考えている。
- ・多摩市内に燃料電池バスを数台配置しており、実際ご乗車いただくと静かで利用者からも好評を得ている。

○鈴木委員

- ・乗降人員について、コロナ禍の影響は相当受けており、落ち込みが激しい。テレワークの普及、緊急事態宣言発出に伴う飲食店関係の時短営業の影響も相当に受けた。乗務員の勤務体制も所定労働時間内のみ留め、何とか営業を継続してきた。
- ・感染防止対策として、L字型の防犯版、空気清浄器を全車に導入し、利用される皆さんが安心して乗車できる体制作りを努めた。また、燃料の高騰もあり、電気自動車の導入の検討に入っている。

○山崎委員

- ・タクシー・バスについては、鉄道の乗降客数が減ると、連鎖的に影響を受けて乗降客数が減っている。緊急事態宣言発出中は、乗務員の休業、計画的な休車をするなど、何とか凌いできた状況で、厳しい状況は今も続いている。
- ・タクシー業界全体として、タクシーアプリの配車が増加している状況、全体の3割近くがアプリ配車によるものとなっている。今後は駅を中心にアプリの配車を利用した事業にシフトしていくのではないかと考えている。

○米澤委員

- ・バス業界全体の状況では、乗合バス全体で20%減少している状況である。ただし、観光、高速バスについては、60~70%減少しているという惨憺たる状況である。最近になって、各種観光支援があって、頼みの綱としているところだが、巷では第8波が近づいてくるというような噂もあって、戦々恐々としているところである。
- ・低公害車両の導入の促進のほか、連節バスの導入、貨客混載にもチャレンジし、事業の継続を進めていきたい。

評価指標 2-1

○吉越委員

- ・令和3年の交通事故件数は280件と、令和2年と比較して増加している状況だが、令和2年はコロナの影響もあって件数も抑えられている状況である。なお、令和3年中は残念ながら、死亡事故が市内で1件発生している。

- ・事故の対応別でみると、追突事故が1番多い状況、続いて、出会い頭の事故、横断中の事故ということで、一般的には出会い頭の事故が一番多いが、多摩中央警察署管内では、追突事故が多い。
- また、高齢者、二輪車の関与する事故が、他の市区町村と比較すると高い状況にあるため、高齢者に対しては、ボランティアの皆さんと一緒に各種キャンペーンを展開するとともに、免許返納のタイミングをとらえた交通安全教育活動を実施している。二輪車に関しては、二輪車ストップ作戦、春・秋の交通安全運動の期間中に市内の自動車教習所において講習会を実施するほか、取締りも強化している。
- ・令和4年9月末時点で多摩市内の交通事故は203件と令和3年の同時期と比較すると、若干ではあるが、下回っている状況である。
- ・東京都内で自転車に関与する事故が増加傾向にあつて、警視庁として、自転車利用者の交通違反の取締りを強化する。特に、信号無視、右側通行、一時不停止、歩道通行について取締りを強化する。

評価指標 2-1、2-2、3-1、3-3、4-1、4-2

○佐藤委員

- ・評価指標 2-1、4-2については、多摩市ミニバスに係ることなので、あわせて説明させていただく。令和3年度の乗降客数については、令和2年度と比較するとやや増加している傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。収支率についても、乗降客数の動きと連動するような形で、コロナ禍前の水準には戻っていない。
 - ・評価指標 2-2、3-1、3-3、4-1については、多摩市が隔年で実施している「多摩市政世論調査」の結果である。世論調査の調査方式の性質から、なぜこの結果になったのかについては、説明することが難しい状況にある。
- 評価指標 2-2については、前回調査を5ポイント程上回っている。評価指標 3-1については、前回調査を5.6ポイント程上回っている。評価指標 3-3については、前回調査を4.9ポイント程上回っている。評価指標 4-2については、残念ながら、前回調査を0.2ポイント程下回っている。
- ・「多摩市交通マスタープラン」に関連する項目として、資料にはないが、令和2年3月に策定した「多摩市地域公共交通再編実施計画」の実証実験の状況について、説明させていただく。
- 当初は、同計画に基づく実証実験を令和2年度から実施する予定だったが、時期を合わせるようにコロナ禍の状況になってしまったため、本会議においても同意をいただきながら、延期を継続している状況である。
- 令和4年9月の多摩市議会においても質疑がなされた。市側の答弁としては、コロナ禍の状況から脱しられていない現状の中で、実証実験を実施しても、正確なデータを得られることに疑問があるため、状況を見極めたいという内容のお話をしている。
- 事務局としても引き続き検討していくが、本会議でご説明、ご相談差し上げる場面もあると思われるので、その際にご協力よろしくお願ひしたい。

質疑応答

○佐々木委員

- ・評価指標 4-1の目標値については、他の目標値の設定と比較すると、高い目標設定をされているが、目標値の達成に向けて特別な取組を行っているのか知りたい。

事務局から回答

- ・策定当時の議論に係る資料が手元にない状況なので、正確なお答えとは言えないところもあるが、他の評価指標と比較すると、様々なキャンペーン活動を行うことにより、参加される方を増やしやすいためだと考えていたと思われるが、参加される方の固定化等もあつ

て、伸び悩んでいる状況も見受けられる。

○佐々木委員

- ・防犯や交通安全運動に係る地域活動のアナウンスが届いていない。こうしたアナウンスが市民に届くようになれば、目標達成に近づくことになると思う。

○事務局（都市整備部道路交通課）から回答

- ・現状、様々な団体とともに活動を進めているが、なかなか新しい方にご参加いただけるような取組が出来ていない部分もある。今後、増やしていけるような取組を進めたい。

○勝手委員

- ・車いす利用者でも簡単に乗れるというジャパントクシーだが、実際に車いす利用者が乗車しているのか。

○山崎委員から回答

- ・ご利用される方はいらっしゃる。

6 報告

(1) 「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」に関する取組状況について

○事務局（健康福祉部障害福祉課）

- ・多摩市では、令和2年7月に「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」を策定した。
本条例のポイントとして、「不当差別的取扱いの禁止」、「合理的配慮の提供」、「障害、障がい者に対する理解促進」、「差別に関する相談体制の仕組み」を掲げている。
- ・「心つなぐ・はんどぶっく」の25ページでは、「駅や電車、バスで」という公共交通機関の利用時におけるページを設けているので、お読みいただきたい。
- ・今年度から、事業者による合理的配慮の提供促進に係る助成金を創設している。また、障害者週間ではさまざまなイベントを実施しているほか、本条例の見直しも予定している。
- ・事業者の皆さんには、趣旨をご理解いただいたうえで、一緒に取り組んでいきたいと考えているので、よろしく願いたい。また、不明な点等あれば障害福祉課にお問い合わせいただきたい。

(2) 多摩市公共交通事業者燃料費高騰等に対する支援金について

○事務局（都市整備部道路交通課）

- ・関係する事業者の皆さんには既に個別にお知らせしている。対象者は、乗合バス事業者、タクシー事業者の皆さんで、条件、交付金額等は、資料にある通りで、申請期限は来年の2月17日までとしている。また、本市の経済観光課でも同種の事業を実施している。

(3) 多摩市ミニバス東西線のルート変更の検討について

○事務局（都市整備部道路交通課）

- ・資料はご用意していないが、現在、多摩市では、来夏の多摩市立中央図書館の開館にあわせるような形で、多摩市ミニバスの東西線の多摩センター駅周辺のルートの変更を予定している。現在、各関係機関の皆さんと調整させていただいている。

7 閉会

以上を以って全ての予定を終了したため、会長より要点録の署名について佐藤委員と勝手委員が指名され、会議を終了した。

以上